

# リスクアセスメント実施一覧表(実施記載例) (印刷・製本作業 1)

リスクアセスメント対象職場	①～③の実施担当者の実施日	④～⑥の実施担当者の実施日	⑦～⑧の実施担当者の実施日

社長(工場長)	製造部長	製造第〇課長

① 作業名 (機械・設備)	② 危険性又は有害性及び発生のおそれのある災害(※)	③ 既存の災害防止対策	④ リスクの見積り		⑤ リスク低減措置案	⑥ 措置実施後のリスクの見積り		⑦ 対応措置		⑧ 備考
			重篤度	発生可能性		重篤度	発生可能性	措置実施日	次年度検討事項	
版交換作業	版のクランプ(取り付け)作業中、レンチがすべり万力の角で手・指を切る	磨耗したレンチの使用禁止 レンチが外れないようしっかりと挿入する	△	II	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンチ作業のすべり防止の作業手順書をつくり教育する</li> <li>レンチの油を溶剤で拭き取る</li> <li>印刷機械のシャープエッジを除去する</li> </ul>	○	I	○	安全パトロールにより工具類の磨耗状態と印刷機械のシャープエッジを点検する	
給紙作業	紙積み作業中、紙パイルを降下させたため、他の作業者の足が挟まれる	2人作業時の、コミュニケーションの重要性を教育する	×	III	<ul style="list-style-type: none"> <li>床面に白線を引き足の進入禁止位置を明示した</li> <li>降下させる時、「降下よし」と声をだし、他の作業者に知らせる</li> </ul>	×	II	○	床面に白線の意味を定期的に教育する	
印刷作業	台の上で印刷作業中、台の床ステップにこぼれた油で滑り、床面に墜落する	高所での作業の場合、手すり等の使用、足場の確認を指示する								
印刷作業	本刷中にサンプルの抜き取りをするとき、爪等に接触して手を切る		×	III	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められた手順でサンプルを取り出す</li> <li>作業手順書を作り、教育を徹底する</li> </ul>	×	△	III	教育を徹底する	
印刷作業	版胴やブランケット胴、圧胴の洗浄作業中、衣服やウェアがはさまれてケガをする	ウェアでローラーをふき取る時は、ローラーの食い込み側からは行わない	×	III	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい服装で作業する</li> <li>ウェアの端をはみ出さないように丸めて持ち、注意して拭く</li> </ul>	×	○	II		
排紙部作業	連続運転中、パイルを挿入時に腕を挟む	パイル作業安全標準書により、班長より新入社員に現場でOJT教育をする	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイル挿入装置に光電式ビームによる安全装置を設置</li> <li>ベテラン社員にも1年に一度パイル作業安全標準書による勉強会を実施する</li> </ul>	×	○	II	パイル挿入装置の安全装置の点検と危険作業についての教育実施が行われているか点検する	

■災害の重篤度 X=致命的・重大 △=中程度 ○=軽度  
 ■優先度 III=直ちに解決すべき、又は重大なリスクがある。 II=速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある。 I=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。  
 ※災害に至る経緯として「～」なので、～として「+」になる」と記述